

## 今治市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 今治市

事 業 名 : 今治市駐車場整備事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適	事 業 開 始 年 月 日	昭和50年11月15日
職 員 数	1 人	施 設 名	駅前広場駐車場
種 類	その他	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年数	15 年
駐 車 場 使 用 面 積	410 m <sup>2</sup>	収 容 台 数	17 台
営 業 時 間	0時~24時		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託		-
	イ 指定管理者制度	平成19年度から開始 5年間ごとの指定管理委託 現在は平成29年度から令和3年度までの指定管理で今治商工会議所が行う	
	ウ PPP・PFI		-

## (2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

営業時間 車種	0時～24時		
普通、小型、軽自動車(30分ごと) 最初の20分は無料	100 円	円	円
	円	円	円
	円	円	円
料金形態の考え方	今治駅周辺の公共交通機関利用者の送迎のために設置した。時間貸しのための料金形態で最初の20分は無料、超えた場合は30分ごとに100円としている。		
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	料金改定はなし		

## (3) 現在の経営状況

駅前広場駐車場は、経営比較分析表において、経常収支比率が180.0%で100%を上回っており、類似団体平均値の449.1%と比較すると低くなっているが、近年は上昇傾向にある。売上高GOP比率については44.2%で類似団体平均値の33.2%を上回っている。さらに、稼働率は223.5%で100%を上回っており、類似団体平均値の277.2%と比較すると低くなっているが近年は上昇傾向である。

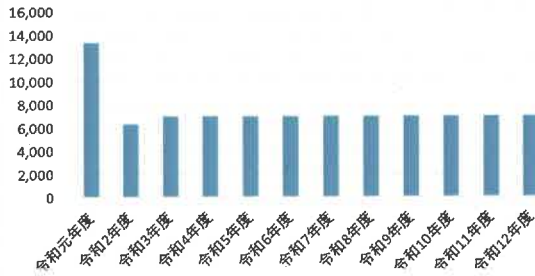
※別紙経営比較分析表のとおり

## 2. 将来の事業環境

### (1) 駐車場需要の見通し

駐車場需要の見通しについては、令和2年度においては新型コロナウイルスの影響で公共交通機関を利用する者が少なく、駅前広場駐車場においても大幅に利用者が減少すると見込まれる。しかしながら、新型コロナの影響からの回復具合にもよるが、新型コロナ禍以前は安定した需要があったこと。また、今治駅前に令和2年7月20日にオープンした今治駅前サイクリングターミナルの影響も鑑み、令和3年度以降はある一定の割合で需要が回復し、横ばいとなることを見込んでいる。

年間台数



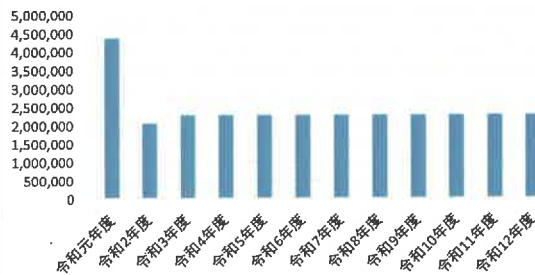
年度	年間台数
令和元年度	13,370
令和2年度	6,300
令和3年度	7,000
令和4年度	7,000
令和5年度	7,000
令和6年度	7,000

年度	年間台数
令和7年度	7,000
令和8年度	7,000
令和9年度	7,000
令和10年度	7,000
令和11年度	7,000
令和12年度	7,000

### (2) 料金収入の見通し

料金収入の見通しについては「(1) 駐車場需要の見通し」とおり駐車場需要が増加すると想定し、現行の料金形態を維持した場合で推計した。

年間収入



年度	年間収入
令和元年度	4,385,100
令和2年度	2,060,000
令和3年度	2,287,000
令和4年度	2,287,000
令和5年度	2,287,000
令和6年度	2,287,000

年度	年間収入
令和7年度	2,287,000
令和8年度	2,287,000
令和9年度	2,287,000
令和10年度	2,287,000
令和11年度	2,287,000
令和12年度	2,287,000

(3) 施設の見通し

本駐車場の駐車機器が令和2年度で耐用年数を迎える中で、製造会社からも現在の機器は製造が中止になっていることや在庫も少量しかないと確認しており、令和3年度中に改修予定としている。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
駅前広場駐車場駐車機器改修工事						
改修工事						
費用合計			14,553,000			

(4) 組織の見通し

平成19年度から指定管理者制度を導入しており、現在は今治商工会議所が行っている。指定管理者は4名の管理人の交代制で管理しており、風早駐車場の管理室には2名が常駐し、うち1名が、駅前広場駐車場と駅東第一駐車場の巡回、清掃、料金の回収等を行っている。市役所職員の人員は兼務職員1名体制である。今後は社会情勢等を踏まえ、組織、人員の見直し等必要に応じて検証する。

3. 経営の基本方針

今治駅周辺の公共交通機関利用者の送迎のために設置した。時間貸しのための料金形態であり最初の20分は無料、20分を超えた場合は30分ごとに100円としている。

#### 4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

##### ① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	本駐車場の駐車機器が令和2年度で耐用年数を迎える中で、製造会社からも現在の機器は製造が中止になっていることや在庫もわずかしかないと確認しており、令和3年度中に改修予定としている。
-----	---

##### ② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	財源は使用料収入と必要があれば基金からの繰入金から賅っている。
-----	---------------------------------

##### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

特になし
------

### (3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

#### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	特になし
駐車場の配置の適正化	特になし
投資の平準化	特になし
その他の取組	特になし

#### ② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	近隣類似施設の状況を把握しながら、社会経済情勢の変化に合わせ、料金単価を設定する。
利用者増加に向けた取組	既存施設の維持管理を適正に行い、利用促進を行う。
企業債	特になし
繰入金	近年の新型コロナウイルスの影響により、令和元年度は基金からの繰入を行った。 今後も予測できない事例が起き、例年よりも収入が下回れば基金から繰り入れる可能性は十分にあると考える。
資産の有効活用等による収入増加の取組	特になし
その他の取組	特になし

#### ③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	特になし
管理運営費	特になし
職員給与費	特になし
その他の取組	特になし

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	駐車場事業は地域及び今治市への来客者にとって重要な役割を担っていることから、一定の意義が認められる。しかし、今後の社会情勢や駐車場周辺の立地の変化により必要であると認められなくなった場合は用途変更等も考慮しなければならないと考える。
公営企業として実施する必要性	上記と同じ

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	本経営戦略は10年間の計画ではあるが、毎年1回の今治市公営駐車場運営協議会および5年毎に指定管理者選定審議協議会を行っており、その時々 <sup>々</sup> の社会的情勢の変化を的確に把握し、必要に応じて方向性等検証する。
---------------------	---







# 経営比較分析表 (平成30年度決算)

愛媛県今治市 駅前広場駐車場

業種名 法非通用	業種名 駐車場整備事業	事業名 -	類似施設区分 A3B1	管理者の情報 非設置
自己資本構成比率 (%) 数値なし	種類 その他駐車場	構造 広場式	建設後の経過年数 (年) 43	

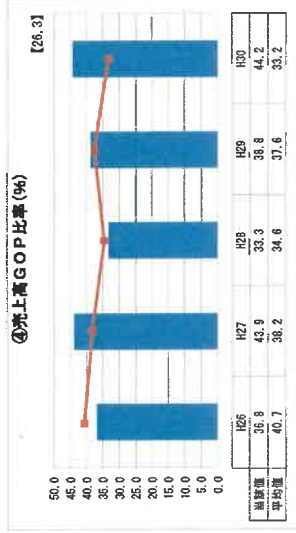
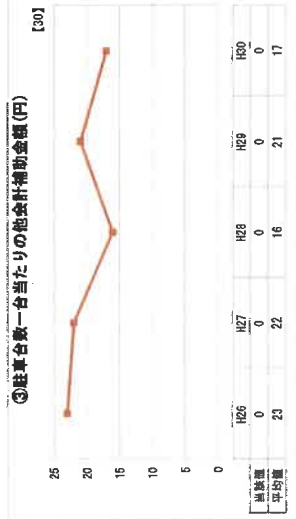
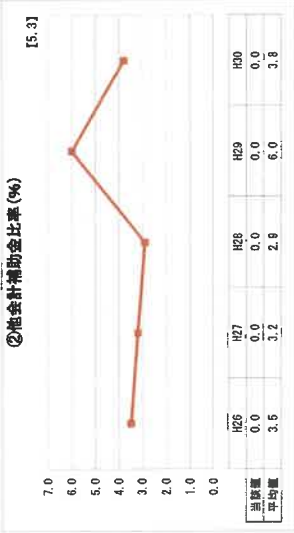
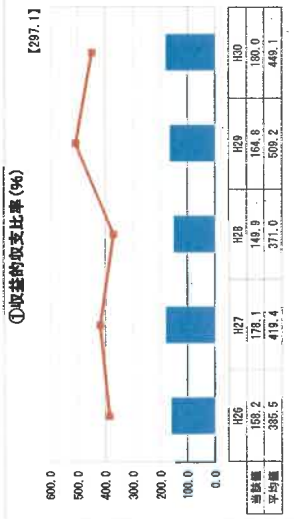
立地 駅	周辺駐車場の運転実績調査 有	駐車場使用面積 (㎡) 410
収容台数 (台) 17	一時留当たりの基本料金 (円) 200	指定管理者制度の導入 代行制

**グラフ凡例**

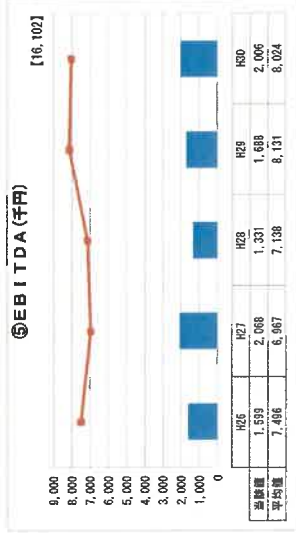
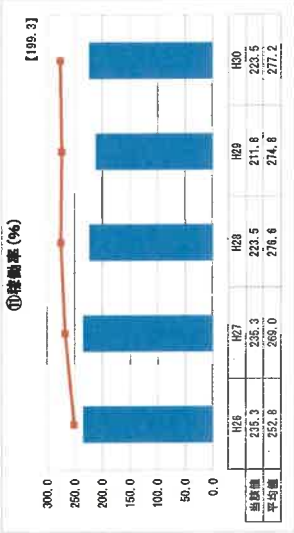
- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)

【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



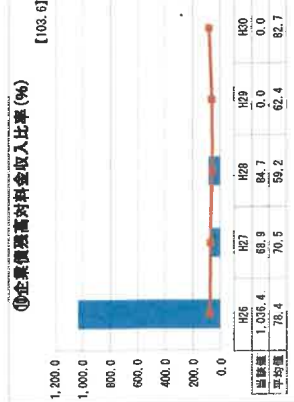
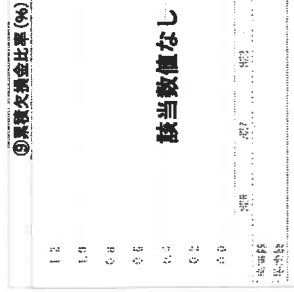
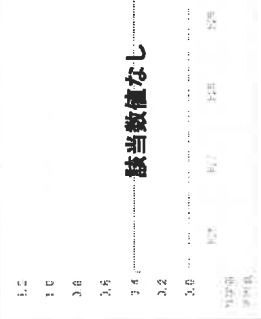
## 3. 利用の状況



分析値  
 自己資本の状況について  
 類似施設と比較すると収支支出比率等の数値は上回っている。駅前という立地から稼働率は高く、収支は黒字で推移している。

2. 資産等の状況について  
 資産等の状況については、大規模な設備投資等はしてはいるが、老朽化が進んでおり、更新が必要な時期となっている。

3. 利用の状況について  
 駅前という立地から依然として稼働率は高いが、近隣に商業施設があることから、無料となる短時間での利用者が多く、利用状況は増加している。



全体解説  
 指定管理者制度を導入しており、経費を削減するための取り組みを行っている。さらなる経営改善に取り組み、引き続き収支の黒字経営の維持に努めたい。

## 2. 資産等の状況

⑦ 敷地の地価 (千円)

20,395

⑧ 取得投資見込額 (千円)

0

数値なし

数値なし